

府中小学校・北小学校 統合再編に係る地区住民説明会 要旨

日時 令和3年11月4日（火） 午後7時から午後8時15分

場所 北小学校 体育館

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，小沼教育総務課長，  
須加野指導室長，小河原副参事，雨貝課長補佐，佐藤主幹

出席者 13名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- ・石岡市立小中学校統合再編計画
- ・小中学校年度別将来推計（別紙）
- ・石岡市学校施設個別施設計画
- ・公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き
- ・石岡市公共施設等総合管理計画概要版

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

北小は校舎も新しく、熱心な先生方もいて、少ないながらも充実した教育環境かと思う。府中小と統合するメリットについてお聞きしたい。また、通学手段についてはどのようになっていくのか伺いたい。

(事務局)

自ら問題を解決し、答えを導き出すといった学習が今求められています。少ない中で手厚い指導が受けられるということも、北小に通う良い点かと思いますが、体育の授業やグループ活動において少ない人数だと制限されてしまう場面もあります。子どもたち同士で多様な意見に触れることで、社会性を身に付けたりといったことも目指し、市としては複式学級の解消に取り組んでおります。

(事務局)

統合に伴い通学距離が長くなった際に、スクールバスの運行を想定しております。今後、統合についての検討事項の協議を行う部会なども組織し、その中でみなさまからご意見もいただいてルートや安全対策について考えていきたいと思っております。

(参加者)

教育面、施設の維持管理に係る財政面などを踏まえ、解決策を考えていくのだと認識した。施設の維持管理の部分についてももう少し詳しく聞かせてもらえると、統合についても理解が深まると思った。また、府中小と統合して北小は無くなるという結論が出ているのか。

(事務局)

統合再編にあたっては、保護者や地域の理解と協力が無ければ進められないと考えております。本日は市が目指している計画について説明させていただきましたが、最終的な決断は保護者、地域のみなさまで行っていただくものと考えます。

(参加者)

地域住民の一番の関心は、北小が無くなるのか無くならないのかといったところだ。最終的な判断を委ねるということで、北小を残したいと言えば残るといのように、思ってしまう人もいるのではないか。市の方針をはっきりと示した方が良いと思う。

(事務局)

計画、方針についてもっと強く示していった方が良いということで、ご意見ありがたく頂

戴します。

(参加者)

令和6年4月に統合が決定という認識で良いか。

(事務局)

先ほども申し上げましたが、計画として目指しております。今後、両校の保護者などに統合を進めてよろしいかの確認を行ってまいります。

(参加者)

未就学児の保護者の意見は反映されるのか。

(事務局)

これから学校に通う保護者の方々のご意見なども、アンケートを実施したりといった方法で伺ってまいりたいと考えております。

(参加者)

スクールバスの災害時の対応などは、現段階でどのように考えているのか。

(事務局)

通学路が今までと変更になるといったこともございます。協議・検討を行う部会を立ち上げ、保護者、地域、関係各所と連携して危険個所の洗い出しなども行っていければと考えます。

(事務局)

各学校において、危機管理マニュアルのような形で対応に備えており、災害時の引き渡し訓練なども行っております。

(参加者)

統合先は府中小のみとなるのか。他の学校に通うことは可能なのか。

(事務局)

学校の統合先は府中小となります。

(参加者)

スクールバスは有料なのか。

(事務局)

今まで統合した学校においては、月額 3,000 円をご負担いただいております。

(参加者)

コロナ禍で小規模の学校が良い場合もあるかと思う。どれくらいの規模になっていくのか。

(事務局)

35 人学級の編成に取り組んでまいります。学年の人数によっては学級数とクラスの人数にばらつきが出ることもあるかと思えます。

(参加者)

統合によって学校の維持管理経費が掛からなくなった部分は、学校運営や教育環境の充実に充てていってほしい。

(参加者)

子どもたちへの説明はどのようにするのか。

(事務局)

今後、両校の PTA、地域の代表、校長先生などで組織する統合検討委員会を立ち上げ、そこで統合することが決定した時点で、お便りのような形でお知らせしていきたいと考えます。

(参加者)

令和 6 年に統合とのことだが、北小の新入生はいつまで受け入れるのか。今後入学先を選ぶことも出来るのか。

(事務局)

基本的に、統合に先駆けて本来通う学校を変更することは認めておりません。令和 5 年までは、北小学区のお子さんは北小に入学していただくこととなります。

(保護者)

体操服などはどのようにするのか。どちらの体操服を着るのか。

(事務局)

統合検討委員会、下部組織の専門部会などで、体操服などの取り扱いについても協議して

まいります。その中に、どちらの体操服にするのか。いつから使い始めるのかといったことも含まれます。

(参加者)

もし体操服が変わるといった場合に、補助などは出るのか。

(事務局)

石岡中と城南中の統合の際には、城南中の生徒に対する体操服一式の補助を出しております。今回も補助について検討させていただきたいと思っております。

(教育部長)

小規模校と大規模校のそれぞれのメリットがあると思います。その中で、小学校においてはクラス替えが出来る各学年2クラスは必要だろうと考えます。小さな学校で上下関係、人間関係が固まってしまうと、クラス替えが出来ないためその状態がずっと続いていくことも考えられます。求められているグループでの話し合いや活動においても、ある程度の規模が必要ということで、計画を進めております。

他の3つの枠組みの統合においても、令和6年4月を目指して進めております。協議の進捗具合によって、年度がずれるといったことも考えられます。大きな集団に入っていく際のギャップなどもあると思いますので、統合の前に交流事業などを行っていくことも必要かと考えております。

スクールバスの負担については、市内の他の統合事例などでも、月額3,000円を負担いただいております。しかし、中学校と違って自転車通学といった選択肢が無いため、中学校も含めると9年間負担が続くご家庭も出てきます。これから、今までどおりの負担金で良いのかなども考えていきたいと思っております。

統合再編計画の中にございます、統合再編が必要かというアンケートにおいて、北小学区でも約80%の方がある程度の規模は必要ということでご理解いただいております。すぐに必要と回答いただいた方は、やはり小規模校のデメリットを感じているのかと思います。

(教育長)

本日お越しいただいた皆さまから貴重なご意見をいただけたこと、心より御礼申し上げます。学校再編について、本日は基本計画などについてご説明させていただきました。新しい学校づくりへの議論には一定の期間を要することとなります。今後も継続的な議論を積み重ねていきながら、学校、保護者、地域、行政の合意形成を図り、関係をより強固にしていくことが、今後のより良い学校づくりにおいて大きな力になると思います。

今日もご意見がありましたが、大事なのは魅力ある学校づくりだと思います。保護者と地域の方々との協働関係を活かした視点も大切です。教材の充実や施設整備といった、子ども

たちの学びの環境を整えていくことにも力を入れていきたいと思っております。

さらに学校再編において生じる課題への対応。スクールバス，体操服，通学路の安全確保。そして，子どもにとって，これまでとは違う環境への対応。府中小学校と統合となった場合には，大人数の中に入っていくこととなります。その時に不安を抱かないように，統合の前後でしっかりと子どもたちを見ながら，安心して学校生活を送れるように準備をしていきたいと考えております。